

【プロローグ】

ええっと、注意点を言うわね。
この音声作品は、「自律訓練法」をベースにした、結構本格的な催眠がかかるものに仕上がっているの。
ってことは催眠パートも長めなのね。
これから大型重機を使うような作業が予定されている方、運転の予定がある方は、視聴はやめておいてね。
責任を負いかねるからね♪

それと、催眠にかかりやすい体質の人は、途中で寝てしまう場合があり得るの。
その場合は、快適に眠れるはずだから、安心して。

これから説明する「解除運動」っていうのも必要ないわ。
あとお、呼吸器系に疾患がある人、精神疾患を持ってる人、腹部に疾患がある 人は、医師の指示を仰いでから使用するようには。

ああ、「いやらしいのを聞きたいんですけど」なんて聞かなくても大丈夫。
「『自律訓練法』をやってみていいですか？」と尋ねれば答えてくれると思うわ。

さてと、解除運動の説明だったわね。
「自律訓練法」って、全身がフワフワと力が抜ける方法なの。
ま、本編はそれだけじゃないんだけど。その力が抜けた状態で立ち上がると、転倒などの危険性があるから、手足をぶらぶらさせてり、グッパー運動をして、体に十分に力が入ってから立ち上がって作業を開始してね。
いつもと同じ感じで動けるならば問題ないわ。
ふらつくようなら、寝転がりながら、体に力を入れる作業を繰り返してみてね。

あらあら、うふふ。
もう期待してるの？

くすくす。

お・あ・ず・け♪
自律訓練法をベースにした催眠は、最初かからなくても、何度も聞いていく内に催眠状態に誘導されやすくなるから、繰り返して訓練することをオススメするわ。

こんなところかしら？
さて、説明は以上よ。
大丈夫なら、安心してわたしの専用のポチになってね♪

【本編】

おはよう、ポチ。
目は覚めた？

くすくす。

んー？
お返事が聞こえないねー？

め は さ め た ？

あらあら、まだ寝ぼけてるみたいね♪

くすくす。
この子今、「はい」って鳴いたわ。
ねえ、ポチ。
ちゃんとワンって可愛くお返事しようねwww

はい！ 良く出来たね！
偉いぞー♪

よしよし、可愛い可愛い…

まあ、全然可愛くはないけどwww
やっぱり、嘘は良くないわね。

オマエは不細工www
オマエみたいな連れて歩く位なら死んだ方がマシ♪
後でオマエ、全国のポチに謝っておきなさい。

うふふ。
でもね？
わたしはオマエみたいな貧弱不細工が好みなの。

苛め心地がいいからね♪

ねえ、ポチ、わたしね？
オマエみたいに、貧弱で、ぶっさいくで
動きのトロい男を催眠調教するのが趣味なのよ。

知らなかった？
今、結構流行ってるのよ？
オマエみたいな、ポ・チの躰けがねwww

オマエ、女と対等な会話が出来ないでしょう。
ふふ。

頑張って気の利いた受け答えをしようと思っても、噛み続けてしまうwww
可哀想にねえwww

あらあら、顔がこわばっちゃたねえ？
うふふ。

顔の筋肉。
表情筋って言うんだけどね？
苛められっ子君のマゾ犬君って独特の表情するのよねー。

よく、そんな顔でお外を歩けるよね？
はずかしくないんでちゅかー？

あらあら、モジモジしちやってwww
拾って来たばかりのワンちゃんって、どうしてこんなに可愛いのかしら♪
この子は不細工だけど♪

ん？

ああ、自己紹介がまだだったかしら。

私は調教師。
あはははは。
今、Hな想像しちやった？

安心しなさい。
私は犬専門。
オマエみたいなワンちゃんだけを舐めるプロなのよ♪

あはは、安心しなさい。
調教と言っても痛い事はしないから♪
得意だけどね♪

その私がね？
オマエを選びました！

あのね？
オマエはね？
わたしが今まで出会った中で、いっつちばん、弱くてトロくて不細工なの。
ふふふ、オマエ断トツの一等賞よ♪

ご・み・ま・ぞ♪

あまりにもオマエが飛び抜けてるからね？
わたし用として飼う事に決めたの♪

「搾精専用のマゾ犬」

それがオマエよ、ポチ♪

今までね？
仕事で性奴隷犬を調教してきたんだけどね？
買い手が付かなかった子は、みーんな自然に返しちやったんだ♪

あらあら。

不安なの？

怖いの？

安心しなさい♪

すぐに、そんな不安も消し飛ぶわ。

不安を感じる自我なんてすぐになくなっちゃうのw
だって、催眠をかけてあなたを調教していくのだから。

わたしのオマンコだけにね？
ボロ雑巾になるまで腰を振り続けることだけを考える性奴隷犬に。
催眠をかけたら、このゴミマゾがどう変わるのかww

……わたしだって興味あるなあ♪

ああ、催眠の説明がまだだったかな？
お姉さんの、調教はね？
催眠術を使うの♪

そう。
私は催眠調教師♪
この世界じゃ結構有名らしいよ。

うふふ。

ねえ？
催眠術って聞いた事ある？

お姉さんね、催眠術を使って調教するの

これって便利なのよーww

どんな生意気な子でも簡単に子猫ちゃんや子犬ちゃんに変える事が出来るの

オマエははポチだけど、私がその気になればいつでも子猫ちゃんにしてあげるからww

いつでもおねだりしなさい♪

あなたもきっと、深い催眠の世界に沈んでいけるわ。
変わるわよ、全てが。

ねえ。
ポチは、異性に対して奥手な方でしょ？
それも改善されるかもしれないわ。
でも、ポチはわたし専用の精子ドピュドピュ犬になるのだから、関係ないか。

今からおまえに掛ける術は「自律訓練法」と言うの。
具体的なやり方について説明するわね。

今から、準備するから、寝たままの態勢でわたしの声に従って準備しなさい。
まず、空腹でも満腹でもないことが条件ね。
今のポチなら大丈夫でしょ。

オマエを今からリラックスした状態に移行させるね

ああ、体を締め付けるような時計やベルトとかは外しなさい。
キツめの服は催眠の邪魔ね♪
ん？ 何か質問したような顔ね。
何かしら？
言ってごらんなさい。

……性的に興奮させるのに、なぜセロトニンを出してリラックスするのかって？
んふふっ、答えは、か・ん・た・ん。

あなた普段、チンチンをシコシコするんじゃないかしら？
…ん、お返事は？
……よろしい。シコシコするときって、興奮度何の状態から始める？
50%？ 60%？

嘘つくなよおww

オナニーを開始する時にはね？
男は80%まで興奮しているそうよ。

つまり、100%になって、おチンチンから発射する時の興奮度は、100ひく80で？
……そう、たったの20%の上昇度ってこと。

だからね？
0の状態から、100まで一気に駆け上ったら、すごいことになるの。
セロトニンがたっぷりの脳の状態から、ノルアドレナリンやドーパミンがガンガン出ている脳へと変わるの。
そうすると、あたかも犬みたいに腰を降り続けちゃうわけ。
搾精用のマゾ犬にも簡単になれると思わない？
ね、簡単な理屈でしょう？

で、仰向けになって目を瞑る。
両手は体の脇に置くの。
……そう、その調子。

そうね、手は軽一く握る感じにした方がいいわね。
手に力を全く入れないと少し指先が曲がるでしょ？
そうそう、それをキープ。

足は組まずに伸ばして、ある程度幅を縮めて。
気をつけみたいにはならないように。

ベースはリラクゼーションのメソッドだからね。
それと、個人的にすごく残念なんだけど、自律訓練法の最中はポチのことをポチって呼べないのよ。

過去の経験でも「ポチ」って呼んじゃうと成功率が大幅に下がっちゃうの。
ポチは、わたしの性奴隷になりたいんだもんねえ？
だから、色っぽくて何かしてくれそうなお姉さん、…わたしに 捕まっちゃったんだもんねえ。

性奴隷犬になりたいよねえ？
なら少しだけ我慢なさい。
自律訓練法中は、ポチを、「あなた」と呼ぶわ。

わたし、催眠調教には丁寧語を使うけど…
一々驚いちゃだめよ w w w

優秀な犬は、命令に良く従うものなのよ。
警察犬しかり、盲導犬しかり、性奴隷犬しかり、…ねえ？
さてと、体を締め付けるようなものは全部外してあるわね？
猫背でだらしないポチだから、

深呼吸が難しいかもしれないけど、頑張ってみなさい。
だって、ポチはわたし専用の性奴隷犬になりたくってついて来たんでしょ？

……さあ、本格的に自律訓練法とその先の催眠をかけていくわね。
わたしの声以外の邪魔なものはないわよね。
じゃ、さっそく始めようかしら。

……………息を深く深呼吸をしてえ。
はあーい、深呼吸。

深呼吸を繰り返します。
深く吸って、出し切る感じでやってみましょう。

力を入れすぎてはいけません。
自然な深呼吸を心がけます。
あなたは普段のストレスから、ヘソの下3 cm程度、横隔膜が硬くなっています。

そこを右手の手先で押してみましょう。
ヘソの下3 cm程度のところにある、硬い部分です。
ここを膨らませるうように、お腹を大きく膨らませることを意識して深呼吸をします。

息をすって——、吐いて——、
息をすって——、吐いて——。

深あく息をすって——、吐いて——、
また、息をすって——、吐いて——。

吐く息は鼻から出してみましょう。
吸う息は可能ならば鼻、難しいなら口からでも大丈夫です。

息を吸っての声の後、「イチ、ニ」と声を入れます。

あなたはお腹で息を止めましょう。
リラックスできている自分に気がつくはずですよ。
全身の力を抜いてリラ——ックス、はい、深呼吸をしましょう。
息をすって——、イチ、ニ、
吐いて——、息をすって——、イチ、ニ、吐いて——。

深く息をすって——、イチ、ニ、吐いて——、また、息をすって——、イチ、ニ、
吐いて——。

わたしは説明を続けるので、あなたは深呼吸を続けましょう。
決して無理はしない程度に。

無理をすると逆効果です。
息を吐く瞬間に、体全体から力が抜ける自分が分かります。

息を吐く瞬間を意識してみましょう。
背中、首、額などかソワソワとするはずです。

感じたならば、確実にリラックスはできています。
深く深呼吸を続けましょう。
すって——、イチ、ニ、吐いて——、すって——、イチ、ニ、吐いて——。
すって——、イチ、ニ、吐いて——、すって——、イチ、ニ、吐いて——。

鼻呼吸や口呼吸の、空気が入ってくる場所だけを意識しましょう。
それ以外は、呼吸をすることだけに意識を向けましょう。
何も考えないをすることができます。

鼻や口の空気が当たっている部分に意識を向けます。
浮かんでくる適当な考えことは、「そんな考えを僕はするんだ」程度に流しましょう。
深呼吸を続けます。

すって——、イチ、ニ、吐いて——

……呼吸が深くできている自分に気がついています。
吐く息と共に、体の上半身がリラックスできていることも自分で分かります。

試しに、自分だけで一度深呼吸をしてみましょう。
……………

ね？
普段よりお腹の呼吸、腹式呼吸ができてるってわかりましたね。

では次の段階に入ります。
あなたは、リラックスをします。
精神を落ち着かせて副交感神経を優位にしていきます。
私の声に集中して、なんなら、自分の脳内でつぶやいても問題ありません。

気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。 ※一度目より二度目を長く

リラックスして、とっってもいい気分です。
気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。

気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。
力が抜けていき、私の声に任せたくなくなっていきます。

気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている。
気持ちがとて——も、落ち着いている

……次は体の各所を念入りにリラックスさせていきます。
意識は、右腕の手先に向けて下さい。
ベッドと触れている場所、手の甲などに意識を向けます。

右手が重た——い、右手が、重た——い、右手が重た——い。
手先の力がベッドの方に落ちていく、とか、接地面が重たく感じる感覚を、手先いっぱい
に広げてみましょう。

右手が、重た——い
手先の重さを捕まえてみて下さい。手とベッドの接地面にうっすらとした力を感じます。
右手が重た——い、右手が、重た——い、右手が、重た——い。
右手が重た——い、右手が、重た——い、右手が、重た——い。
右手が重た——い、右手が、重た——い、右手が、重た——い。

手先が重たくなったら、その重さを腕まで広げてみましょう。
手先の重さが腕まで広がれー、広がってこいと心の中で思いながら、また、体の中で重さ
を引っ張り上げるような考えを持って下さい。

右腕が、重た——い

右腕が重た——い、右腕が、重た——い、右腕が、重た——い。
右腕が重た——い、右腕が、重た——い、右腕が、重た——い。
右腕が重た——い、右腕が、重た——い、右腕が、重た——い。

……右の手先だけにもう一度、意識を向けましょう。
手先を意識しながら、さっき学んだ深呼吸をします。
吸って——、吐いて——。吐いた瞬間に、手先に温かみを感じられたはずです。

ピリピリしたり、フワフワしてたり、ジリジリするものかもしれません。

そのピリピリ、フワフワ、ジリジリが温かみに変化していきます。

もう一度、深呼吸をしましょう。吐く時の右手の感覚に集中してください。
吸って——、吐いて——。
ジリジリ、ジンジンした何かを感じることができましたね。
うっすらで大丈夫です。※温かい雰囲気と言う

右手が、温か——い

右手が温か——い、右手が、温か——い、右腕が温か——い。

ジリジリ、チリチリする感覚を沢山感じてみて下さい。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。
右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。
右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

手先のピリピリする感じ、フワフワと温かい感じなどを感知して、手先いっぱいに広げて
みましょう。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。
右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

手先が温かくなったら、温かみを腕の肘あたりまで広げてみましょう。

ジリジリ、ピリピリ、フワフワとした温かみを腕まで広がれー、広がってこいと心の中で
思いながら、また、体の中で温かみを引っ張り上げるような考えを持って下さい。

右腕が温か——い、右腕が、温か——い、右腕が温か——い。

……次は同じように左手に意識を向けましょう。

やんわり開いた左手と布団の接地面、くっついているところに意識を向けます。
ずっしりと重たくなる感覚、布団に引っ張られる感覚が、ほのかに感じられるはずです。

左手が、重た——い

手先の重さを捕まえてみて下さい。手と布団の接地面にうっすらとした力を感じます。

左手が重た——い、左手が、重た——い、左手が、重た——い。

左手が重た——い、左手が、重た——い、左手が、重た——い。

左手が重た——い、左手が、重た——い、左手が、重た——い。

手先が重たくなったなら、その重さを腕まで広げてみましょう。

手先の重さが腕まで広がれー、広がってこいと心の中で思いながら、

また、体の中で重さを引っ張り上げるような考えを持って下さい。 ※温かい雰囲気で言う

左腕が、重た——い

左腕が重た——い、左腕が、重た——い、左腕が、重た——い。

左腕が重た——い、左腕が、重た——い、左腕が、重た——い。

左腕が重た——い、左腕が、重た——い、左腕が、重た——い。

……左の手先だけにもう一度、意識を向けましょう。

手先や手の甲を意識しながら、さっき学んだ深呼吸をします。

吸って——、吐いて——。吐いた瞬間に、手先に温かみを感じられたはずです。

右手より、簡単に温かみを感じられます。息を吐く瞬間、左手を強く意識します。

吸って——、吐いて——。

ピリピリしたり、フワフワしてたり、ジリジリ・ジンジンしているかもしれません。

そのピリピリ、フワフワ、ジリジリがかなりの温ったかさに変化していきます。

もう一度、深呼吸をしましょう。吐く時の左手の感覚に集中してください。

吸って——、吐いて——。

ジリジリ、ジンジンした何かを感じることができましたね。うっすらで大丈夫です。

段々強めていきましょう。気持ちにはリラックスしましょう。

右手が、温か——い

右手が温か——い、右手が、温か——い、右腕が温か——い。

ジリジリ、チリチリする感覚を沢山感じてみて下さい。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

手先のピリピリする感じ、フワフワと温かい感じなどを感知して、

手先いっぱい広げてみましょう。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

右手が温か——い、右手が、温か——い、右手が温か——い。

手先が温かくなったなら、温かみを腕の肘あたりまで広げてみましょう。

ジリジリ、ピリピリ、フワフワとした温かみを腕まで広がれー、広がってこいと心の中で

思いながら、また、体の中で温かみを引っ張り上げるような考えを持って下さい。

右腕が温か——い、右腕が、温か——い、右腕が温か——い。

……手の変化が感じられました。

催眠がかかっていっている証拠です。

では、今からもっと深い催眠状態に誘導していきます。
両手に意識を向けましょう。
両手のさっき重たくなった部分を同時に重たくしていきます。
両手が重た——い、両手が、重た——い、両手が、重た——い。

……さっき重たくなったところを意識して、下に引っ張られる感じを意識しましょう。

腕自体が重たくなる場合もあります。その場合も、私の声に身を委ねて下さい。
両手が重た——い、両手が、重た——い、両手が、重た——い。
両手が重た——い、両手が、重た——い、両手が、重た——い。

……深呼吸をしながら、吐く息と同時に重たさがやってきます。ゆったり落ち着いて、もう一度。
両手が重た——い、両手が、重た——い、両手が、重た——い。
両手が温か——い。両手が、温か——い。両手が温か——い。
さっき温かくなった箇所から、少し腕や肘のほうまで温かみを広げるように意識します。

同じように、深呼吸を吐く息の時に温かみ、
チリチリ感、ジンワリ感を感じやすいはずです。
一度、深呼吸を行ってみましょう。意識は、両手先の温かみに向けます。

息を大きく、吸って——、吐いて——。吸って——。吐いて——。
吐いた息の時にチリチリ感やジンワリ感が感じやすかったはずです。
では、その吐く息と手先の温かみの関係性を意識して、続けてみましょう。

両手が温か——い。両手が、温か——い。両手が温か——い。
……次は、おでこから首にかけてを意識しましょう。
首より上、全体の力を抜く催眠を施します。

まくらに首の力を全て預けて、首からおでこにかけてのリラックスを感じましょう。
深呼吸は軽めに続けて下さい。
腹式呼吸の練習をしているので、すでに深呼吸ができている状態のはずです。

吐く息と同時に、私の話すフレーズを脳内でつぶやいてみてください。
首の力が、抜けていく——。
首の力が抜けていく——。

多少、首を捻ってみるのも効果的です。
その際はゆっくり後ろに傾けてみてください。
私のフレーズに合わせて、首を軽くひねって大丈夫です。

首の力が、抜けていく——。首の力が抜けていく——。
……おでこの力も抜いてみましょう。不要な力が入っている箇所です。

意識をおでこに向けましょう。
誰かの、例えば、わたしの人差し指がおでこの手前3cmにあると想像してみると、具合がよいです。
実際に、人差し指を額の3cm手前に置いてみます。
どうですか？ 何かおでこの先にあるような感じがしませんか？
その部分を意識して、深呼吸をして、わたしの声に集中してみてください。

おでこの力が抜けていく——。おでこの力が、抜けていく——。

力が抜けていって、少しくすぐったいような感じがしているはずです。
それを意識してもう一度。
おでこの力が抜けていく——。
おでこの力が、抜けていく——。

……おでこに意識を集中させたままでいましょう。
高原のさわやかで、涼しい風が当たるようなイメージをしてみてください。
額のあたりを、すーっとなでるように涼しく感じます。

おでこが、気持ち良くて涼しーーい。おでこが、気持ち良くて涼しーーい。
ひんやりとした空気が、おでこを撫でていきます。
おでこの辺りが、とっても涼しくて、ひんやりして心地よいのが分かります。
おでこが、気持ち良くて涼しーーい。おでこが、気持ち良くて涼しーーい。

……十分にリラックスはできましたか？
全身の力が抜けてとっても気持ちがいいです。

利き手、おチンチンを普段シコシコしている手を、パンツの上からおチンチンに当ててみましょう。

まだ、静かなおチンチンですね？
温かい手を置いて、おチンチンも温めてみましょう。
深呼吸をして、吐く息と共に、おチンチンの温かみを感じます。
おチンチンが温かーーい。おチンチンが、温かーーい。おチンチンが、温かーーい。
い。

いつもより、おチンチンが生き生きとしているのが分かります。
カリ首のあたりが、何かに刺激を与えて欲しいように、躍動するのが分かります。
おチンチンが温かーーい。
おチンチンが、温かーーい。
おチンチンが、温かーーい。

……私の言った通りにすると、体がじんわりと心地よくなることがわかりました。
つまり、私の言葉に従った方が、気持ちがよいことがわかります。

あなたは、私の命令に従うのが心地よーーい。
あなたは、私の命令に従うのが心地よーーい。
あなたは、私の命令に従うのが心地よーーい。
あなたは、私の命令に従うのが心地よーーい。
あなたは、私の命令に従うのが、心地よーーい。

……あなたは私専用の性奴隷犬です。
頭でなんどもつぶやいて、自分の立場を認識しましょう。
次こそ、自分自身に言い聞かせるように脳内で何度も繰り返して。
わたしは性奴隷犬でーーす。

……さて、と一つも気持ちがよくなったでしょう？
とりあえずは……落ち着いたって意味でね。

では、一気に100%まで興奮を加速させていきましょう？
念のためにあなたは一体なんなのかを聞かせてもらえるかしら？

さ……、自分の口でいってごらんなさい。

ポチはあなた様の性奴隷犬です、……ですってえ、んっふっふっふっふっ。

そうよね、トロくて、貧弱で、ブッサイクな面ひっさげてるあんたは犬だよねえ。
ポチ、自分の顔を自分で表現してみて。
はあ？ ポチはブサイクです、ってえ。
んっふっふっふふ。

あっはっはっはっは。

そもそも素質があったみたいね。
今回のハントは大成功だったかも。
催眠にはかかりやすい、かかりにくいがあるんだけど、
ポチは他人への依存心がハンパないから、かかりやすかったみたい♪

でもね、奴隷犬だって自分で認めたから、自分を貶めたから、筋肉のひくつきは治ってるよ。
たっぷり、たっぷりと奴隷犬になって腰を振ってね。
あっはっはっは、惨めね。
性奴隷犬にならないと、心の安寧が保てないなんて。

さっ、たっぷりわたしを楽しませてね、ポ・チ。
さてと、ポチは性奴隷だよねえ？
性奴隷犬くらいにしかねれないよねえ？

なら、パンツを脱ぎなさい。
わたしの命令には全て… …どう答えるんだっけ？

……そう、自然に出るようになってるわね。
いいのよ、気持ちはフワフワのママで。
パンツだけ降ろして、ポチのおチンポ見せなさいよ。

……催眠で大きくなる人もいるんだけど、やっぱりポチはポチね。
見た目通りの情けないおチンチンww
どうにかして大きくしなくちゃね。
ちょっと自分でしごいてみようか。
シコシコって。

人差し指と親指の先でつまんで握るの？
可愛いねえ、あっはっはっはっは♪

ほらあ、ポチィ。
命令よ、おチンチンをいつもみたいにシコシコしなさい。

ほらほら、いつもオナニーしているみたいにシコシコしてごらんよ。
うっわ、皮擦りでオナニーしてるよ。惨めだねえー。
自分の皮で気持ち良くなってるんだ、ポチは。

ほら、ぼさっとしてないで、シコシコシコシコオってやってみなさいよ。 早めに
あら、今度はすぐに勃起するの？
ポチのおチンチンは随分と素直なおチンチンなのねえ。

女の声があるから？ 期待してるから？
性奴隷犬になったのに、期待してるの？
んっふふふ、あっはっはっはっは。

ポチ、性奴隷犬としての素質はたっぷり持ってるみたいよ。
でもね、その大きさのおチンチンじゃあ、わたしのオマンコ、満足しそうにないの。

わたしが手伝ってあげる。おねがいしますのお返事は？

……そう、いい子ね。

私が耳と乳首を同時に攻めてあげる。まずは右の耳と右の乳首から。

ふーっって息かけられるのはどう？

ふーっ、ふーっ、ふーっ、

くすぐったくて、ゾクゾクしない？

分かっていると思うけど、左のお手ては、自分の左の乳首をコリコリするんだよ。

耳にキスしてあげる。頑張ってシコシコ続けなさい。

ンチュッ、チュッ、…フンチュッ、チュパッ、チュパッ

乳首も一緒にコネコネクリュクリュしちやおうかしら。

……それともツネツネがいい？

チュッ、ンチュッ

れえ、どっちだかいいなさい。

コリコリがいいなら、ワン一回、ツネツネがいいならワン二回

どっちもしてほしいなら、ワン三回……。

……………そう、どっちもいいのね♪

あら、期待から、乳首が勃起してきたねえ？

ちょうどいいから、耳、乳首、オチンポシコシコを同時にやってみたら？
このまんまじゃ、私のオマンコにはまだ早いから。

だって小ちゃいんだもの。皮もシワシワの真性包茎っばいしさ

じゃあ、いくよ。乳首をコネ・コネ、コネ・コネ、コネ・コネ、コネ・コネッ

乳首をつまんで、ツネ・ツネ、ツネ・ツネ、ツネ・ツネ、ツネ・ツネ、ツネエ・ツネエッ

大分敏感になってるみたいね。性奴隷犬の分際で。
どうせだから左も

やってほしいでしょ？

……………お返事は？ ……………よろしい。

ほらあ、おチンチンシコシコ忘れてる、本ッ当にとろいね、ポチは。

おチンチンしごかないと、私のオマンコが楽しめないんだってば

乳首もいくよっ、ほら、コネ・コネ、コネ・コネ、コネ・コネ、コネ・コネッ

また乳首、つまむよ、クリュって

ほら、見てて、ツネ・ツネ、ツネ・ツネ、ツネ・ツネ、ツネ・ツネ、ツネ・ツネッ

ああん、そこそこの大きさのおチンチンになれるんじゃない

小さいけど、わたしが見込んだだけはあるわね

それにしても、くっさいおチンチンね。

匂い嗅いでみようかしら。

わたしね、弱っちいオスの、

童貞臭プンプンしたくっさいくっさいおチンチンの匂い嗅ぐのが好きなの　うに
すーっ、すーっ、スンスン、んー、くっさい童貞臭。

わたしの大好きな、短小包茎チンカスたっぷりオチンポ特有の匂い。
でも、匂いだけじゃダメなの。

もっと太くして、ビクンビクンするようなアツツイガチガチオチンポになってほしいの。
その細くて握りやすそうな、……、
ああ、つまみやすなおチンチンをつまんでくれる？
もっとシコシコしなさいよ。

ちょっと餌をあげようか？
ポチ専用のエッチな餌を。
欲しければあ、何をするんだっけ？
…… …よろしい。

でも、「ワン」だけじゃ奴隷犬じゃなくて普通の犬でもできるわよねえ？
「チンチン」って芸を覚えようか？
わたしが「チンチンよ！」って言ったら、手を使ってオチンポをブルンブルン振らせてみて。
勃起したオチンポを、おヘソの方に持って行ったり、
下に下げたりして、ブルンブルンって。
はい、「チンチンよ！」

………、あらあ、奴隷犬に相応しくなれたじゃない、ポチい。
さてと、ポチの役目は分かっているわよね？
わたしのために、わたしが何回もイクために腰を振り続けるの。
それがポチがここに来た理由なんだから。
「チンチンよ！」

……気を抜かない。性奴隷犬になったんでしょ？
命令には忠実にしたがう、これが犬の特徴なんだから。

さて、わたしを何回もイカせるためにはもう少し熱くてふっといオチンチンが必要な。
じゃあ、餌の時間よ。
じゃあ、目の前でわたしのオナニーを見せるから、
おっぱいとおまんこ、喘ぎ声、餌にしてください。
ボンデージって脱ぎやすいから好きなの。

ほら、ピンク色した乳首が見えちゃったでしょ？
ポチ、おっぱい大好きだものねえ。

でもね、今回の餌はこっちがメインなの。
今度は…、このガーターを外すはね。

ん…、こっちは入り組んでるから……、脱ぐのが…、楽じゃ…ないんだけど……。

ポチの方に座って、M字に股を開いてあげる。
そう、飼い主のオナニーを見て、もっともーっとオチンチンをおつきくかたあくして。

お返事は？
……、ではこの筋マンを開いていくわね。
筋マンコを見るだけでもどう？
この中にどんなオマンコがあるのかなって期待できない？

ポチが一番すきなのは、オマンコだもんねえ？
実際には見たことないでしょ？

ビデオとか漫画見て想像するしかなかったでしょ？
女性のオマンコってとってもいやらしい形状をしてるのよ。
…さて、筋マンコをクパァって開くから、開く瞬間もよく確認してね。
こうやって、人差し指と中指をオマンコの端に添えて、力を込めるの。
そうするとっ、んっ、ほらあ、これがオマンコ。
ポチは名称しらないだろうから、オマンコの説明もしてあげるね。
まず、上にあるクリクリしたのがクリトリス。
ここはとっても感じちゃうのよ。
そのしたの少し盛り上がってるところが、尿道ね。
そのしたが、膣口、まあ、オマンコのお口ね。
それらをかバーしてるのが、小陰唇、いわゆるビラビラね。
クリトリスとビラビラに血がいて、充血してきたら、
食べごろオマンコになるわけ。
じゃあ、クリちゃんからクリュクリュしちやおうっと。
ポチは、分かってるよね？ オチンチンシコシコするんだよねえ？
わたしのクリトリスがこねくりまわされてるところを
ガン見しながらシコ・シコってやってみて。

少し唾液をつけるの。クリトリスって敏感だから。
ほら、こうやって、反対の手でえ、
クリトリスをクリュ・クリュ、クリュウ・クリュウってしていくと、

アンッ、気持ちいい、アアン、クリちゃんがクリュクリュされて気持ちいい。
もっとツネツネしちやおうっと。
ちょっと回転も与えて、クリちゃんをこねくりあげるといい感じになるの。
はあん、ンッ、クリちゃんが、クリちゃんが気持ちいいいい。
……ほら、ビラビラをよく見て。
さっきより、厚みが出てるでしょ？
オマンコ全体が敏感になってきた証拠。
そうすると、オマンコのお口に指がスルって入っちゃうの。
オマンコの中って、とってもあったかいんだよ？
早くオチンチンおっきくして、ズコズコしてもらわないとね。
だから、ほら、シコ・シコ、シコ・シコ、シコ・シコオってポチは続けなさいよ。
わたしも二本指でいっちゃおう♪

唾液をいっぱいつけて、オマンコ汁と混ぜると気持ちいいのよ。
ほら、ヌチュヌチュって音が聞こえるでしょ。

ンフウ、オマンコの内部の上の方にザラザラした部分があるの。
名前知ってるポチ？ 言ってごらん。
……そう、Gスポットよね？

そこをメインにオマンコをクチュクチュクチュクチュってしていくと、
すっごい気持ちいいのよ。
中指をメインにオマンコに指を突っ込んで、ほら、こうやるの

アアアッ、ああっ……、調教してる興奮でイッちやいそうだった♪
あら、随分と一生懸命シコシコしたからかしら？
オチンチン、い〜具合じゃない？
「はい、チンチンよ！」

……んふふ、硬くなってるね。
さっきより、振れ幅が短くなってる。
オチンチンに血が集まって、短小オチンポも様になってるじゃない。
何かに差し込みたいいって気分にいるんでしょ？

じゃあ、次の芸を教えましょうか。
「マン・マン」って芸なの。
これを言われると、オマンコにオチンチンを突っ込んで、
わたしが何度も何度もいくまで、わたしのマンコが摩擦で壊れちゃうまで腰を振り続けな
くちゃならない芸。
ポチなら、できるよねえ？
……いいお返事。
このまま、ポチの方に擦り寄るから、そのまま正常位で強く刺しなさい。
はい、「マンマンよ！」

ハアンッ、犬チンポがっ、んっ、入って、ンンッ、くるうう。
ほら、わたしの腰を掴んで、いっぱいいっぱいーい、腰を振り続けなさい。
ズチュズチュっておっきな音が出るように、ズブズブズボズボ刺しまくってええ。

アアアッ、アアン、……んふう♪
上手に「マンマン」ができたじゃない、ポチ。
でもね、まだまだイっちゃダメだからね。
ポチの役目は、わたしをなんどもイかせることと、わたしにザーメンを提供すること。
もっとオマンコをズチョズチョ肉棒で突きなさい。

ンアッ、ポチの腰振りっ、ンハアっ、犬になってるからっ、ンンッ、いい感じにっ ア
アン、なってるじゃない。
ほら、「マンマン！」
もっともっともーっとオマンコ汁とオチンポ汁をグッチョグチョにかき混ぜるように「マ
ンマンよ！」

……んふう、…アフウ…、ンッ、……ポチがズコバコしたせいで、
オマンコがヒクヒク言っちゃってるじゃない。
フィニッシュは性奴隷犬らしくバックで「マンマン」しなさい？
できるわよね？
小さい小さいオチンポでも何度も突けば摩擦で気持ち良くなれるの。
わたしがバックになるから、ポチはオマンコ目掛けて突っ込み続けるのよ。
……ンアアッ、ポチの童貞オチンポが入ってくるう。
ああ、汚くて男らしさのかけらもないオチンポが、わたしのマンコいっぱい広がってる
うう。

ンンッ、イクかも、イクイク、イっちゃうかも。
ポチも、ンクウ、わかってるわよね？
ご主人様とっ、ハアン、わたしと一緒に、ンンッ、
ザーメンをおまんこに出すのよ。

ンンッ、アアアッ、イっちゃうイっちゃう、もっとオマンコ突いてっ！
イっちゃうイっちゃうイっちゃう！
ポチも、はあああん、一緒にっ、イきなさい！
アアアアアン、イっちゃうイっちゃううう、オマンコイっちゃううううううううううう
うううううう！！

…んはあ、ふはあ、んはあ、んふう……、

は？　なんで腰振り止めるのよ？
女は連続イキができるんだから、もっと腰を振り続けなさいよ。
ポチのツラさなんかあるわけないでしょ。
ポチは搾精用のマゾ犬なんだからね♪
ほら、「マンマン」よ、「マンマン！」

そうっ、バックから、ズコズコっ、ンン〜ッ、突いて突いてっ、アアアアアアアアアン！
ンンッ、そうっ、ズコズコ、ズチュズチュって、もっと、もっと突いてええええええ！
んはあ、オマンコに、オマンコにたっぷりザーメン頂戴、もっとザーメン頂戴、ンンッ、
アアアアアアアアアン！
ポ、ポチもっ、もう一回、ンンアアッ、ドピュッとっ、アアアアン！イってええええええ！

はあああん、イクイク、オマンコイっちゃうイっちゃう
オマンコイッックウウウウウウウウウウウウウウ！！
……ンンッ、ンはあ、はあ……オマンコ、気持ちいい……。
ポチ、なかなか良い腰の振りだったよ。
「マンマン」も上手にできたじゃない。
自分のオチンチンについてオチンポ汁は自分で掃除しなさい。
手間がかからなくていいわ♪
んふふふふっ

さて、お馬鹿でトロいポチも催眠を使えば
十分に搾精用マゾ犬として使えることが分かったわ。
これからは催眠をかけて、もっとわたしのオマンコを気持ち良くさせてね♪

んっふっふっふ♪

女とは縁がなかったポチがオマンコにオチンチン突っ込めるようになったんだから、ありがたいよねえ？
……お返事は？

くすくす。
…よろしい。

それじゃあ、一度催眠を完全に解くから、わたしの言う通りにして。
まず、上半身はそのまま寝た状態で、手を握ったり開いたりして。

そう、グッパー、グッパー、グッパー。
馬鹿馬鹿しく思えるけど、これ、結構重要だからね。
そう、まだまだグッパー、グッパー、グッパー。
次は、倒れないように上半身だけ起こしてみるの。
手を組んで、右回りに回してみて。

そう、ぐるぐるぐるぐるって。何度も何度も。
そうしたら反対の方向にもぐるぐるって回してみて。
まったくトロいんだから、さっさと回しなさいって。

そう。そうしたら、首を体育の時みたいにぐるぐる回すの。
右回りで——、いっか——い、にか——い、さんか——い
左回りも——、いっか——い、にか——い、さんか——い
さ、普通に手足に力が入る感じになった？
ならないなら、同じ運動を続けるのよ。
…………大丈夫みたいね？

じゃあ、このまま散歩にでかけましょ？
わたしの可愛いポ・チ。
飽きるまで、大切に飼ってあがるから。
んっふっふっふっふ、あっはっはっは♪